



平成27年12月7日

収れんの火災に注意を!!

～ 太陽の高度が低い冬場に多く発生しています ～

収れんとは、太陽光が凹(おう)面鏡やルーペなどにより反射又は屈折して1点に集まることをいい、光が集中した場所に可燃物があると火災に至る場合があります。

太陽の高度が低くなり、部屋の奥まで太陽光が差し込む冬場に多く発生する傾向があることから、東京消防庁では出火防止について注意を呼びかけています。

最近10年間の火災状況

○ 発生状況

最近10年間(平成17年から平成26年。以下同じ。)に発生した収れんの火災は47件で、1月と11月がそれぞれ8件と最も多く発生しています。

出火時間帯は10時台から15時台が多く、日が沈みかける15時台が7件で最も奥発生しています。

○ 発火源別の発生状況

収れんが発生したものを種類別にみると、凹面鏡8件、ルーペ4件、ステンレスボウル・洗面器4件、ガラス瓶・花瓶3件などのほか、多岐にわたっています。(データが残っている平成21年以降)

○ 焼損程度、死傷者の状況

火災による焼損状況をみると、建物火災は38件で部分焼6件、ぼや32件となっており、全焼、半焼の火災は発生していません。建物火災以外に車両火災が2件、その他火災が7件発生しています。

死傷者の状況をみると、死者の発生はなく、負傷者1人が発生しています。

○ 火災を防ぐために

窓際や太陽光が差し込む範囲には、収れんが起きる可能性があるものを置かないように注意してください。また、カーテンで遮光することも有効です。

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

※ 資料映像をご希望の場合は、東京消防庁本部庁舎5階広報課にて配布いたします。

問合せ先

東京消防庁(代) 電話 3212-2111
予防部調査課 内線 5066 5068
広報課報道係 内線 2345～2350

別紙資料

表1 収れん火災状況

年 別	火 災 件 数							損 害 状 況				
	合 計	建 物					車 両	そ の 他	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	死 (人) 者	負 傷 (人) 者
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ ぼ や						
合 計	47	38	-	-	6	32	2	7	30	30	-	1
平成 17 年	8	7	-	-	1	6	-	1	17	18	-	-
平成 18 年	2	1	-	-	1	-	1	-	12	-	-	-
平成 19 年	6	3	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
平成 20 年	3	3	-	-	1	2	-	-	-	6	-	1
平成 21 年	6	6	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
平成 22 年	6	5	-	-	-	5	1	-	-	-	-	-
平成 23 年	6	5	-	-	2	3	-	1	1	4	-	-
平成 24 年	5	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
平成 25 年	3	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
平成 26 年	2	1	-	-	1	-	-	1	-	2	-	-
平成 27 年	2	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-

注：平成 27 年の数値は1月1日から9月 30 日までの速報値です。

表2 発火源別状況

	合 計	凹 面 鏡	凸 レ ン ズ	反 射 板	発 火 源 詳 細
合 計	47	22	18	7	
平成 17 年	8	6	1	1	
平成 18 年	2	-	1	1	
平成 19 年	6	3	2	1	
平成 20 年	3	3	-	-	
平成 21 年	6	-	4	2	ステンレスポウル、ルーペ2、球型置時計、ガラス玉、ステンレスごみ箱
平成 22 年	6	1	3	2	凹面鏡、建物外壁（カーテンウォール）凹面反射板、ルーペ、ステンレス洗面器、ステンレスポウル、ペットボトル
平成 23 年	6	3	3	-	ガラス瓶、クリスタルポウル(ジャグ)、ステンレスポウル2、ガラス花瓶、卓上ミラー、
平成 24 年	5	4	1	-	凹面鏡4、ルーペ
平成 25 年	3	2	1	-	凹面鏡2、ルーペ
平成 26 年	2	-	2	-	ガラス瓶、凸レンズ
平成 27 年	2	1	1	-	凹面鏡、ガラス玉

注：平成 27 年の数値は1月1日から9月 30 日までの速報値です。

注：発火源詳細は、データの残っている平成 21 年以降を掲示。

表3 用途別状況

政令用途	出火した用途	合計	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
合計		47	8	2	6	3	6	6	6	5	3	2	2
6項口	児童福祉施設	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	有料老人ホーム	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
15項	その他事業所	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
5項口	寄宿舍	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	共同住宅	21	4	1	-	1	5	2	3	4	1	-	1
7項	小学校	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
非該当	住宅	11	2	-	1	2	-	2	2	-	1	1	-
	車両	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	その他	7	1	-	3	-	-	-	1	-	1	1	-

注：平成27年の数値は1月1日から9月30日までの速報値です。

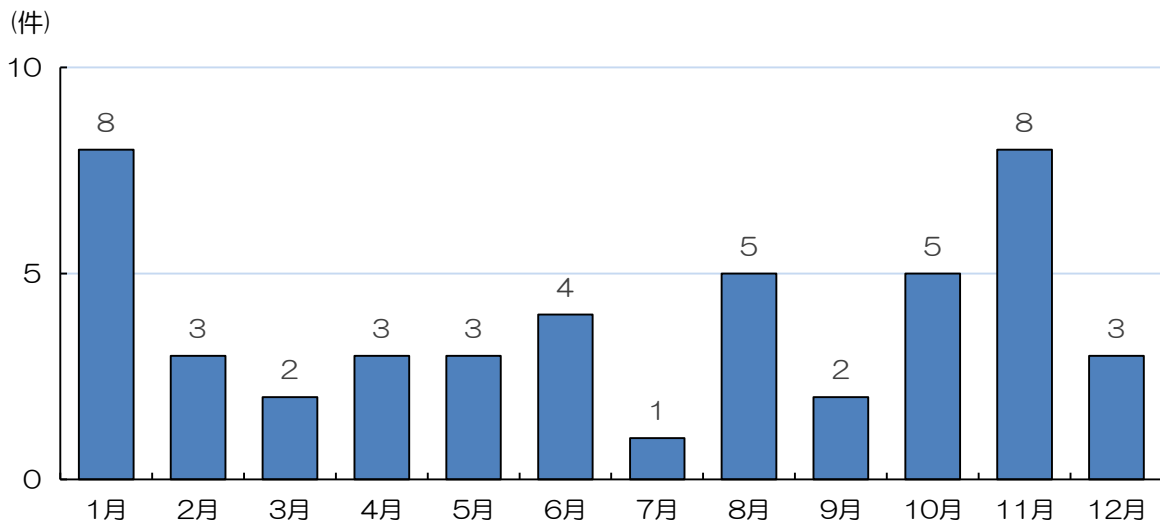
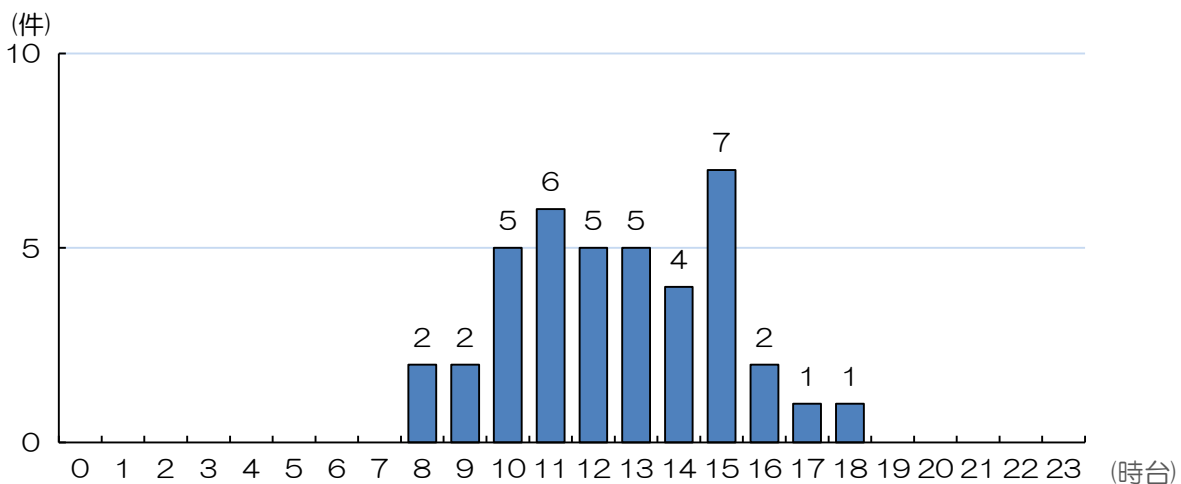


図1 月別火災状況 (平成17年～平成26年)



※ 時間帯不明の7件を除く。

図2 時間帯別火災状況 (平成17年～平成26年)

【火災事例】

事例1 ルーペ（凸レンズ）の収れんにより出火した火災

（平成24年1月 15時ごろ 清瀬市 負傷者なし）

この火災は、共同住宅の7階居室の棚に置いていたぬいぐるみが焼損したものです。出火原因は、ぬいぐるみの脇の小物入れに入れていたルーペ（凸レンズ）に太陽光が差し込み、収れんによりぬいぐるみの頭部で焦点を結び出火したものです。

居住者が、15時ごろに居室の棚に置いてあるぬいぐるみが焦げているのを発見し、通報しました。

初期消火は行われていません。

写真1 小物入れのルーペの状況



写真2 ルーペとぬいぐるみの位置関係



事例2 凹面鏡の収れんにより出火した火災

（平成25年1月 15時ごろ 港区 負傷者なし）

この火災は、共同住宅の10階居室の内壁化粧板が焼損したものです。

出火原因は、窓際のテーブル上に置いていた凹面鏡に太陽光が反射、収れんし、内壁部分で焦点を結んだため出火したものです。

居住者が、17時ごろに帰宅すると、居室の内壁化粧板が焼損しているのを発見し、通報しました。

初期消火は行われていません。

写真3 凹面鏡と焼損箇所の状況



焼損箇所拡大



資料映像

